

回 覧



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成29年4月20日 第2号

校長 酒井 元治

春は初めてでいっぱい！

入学したばかりの1年生の春は「初めて」づくしです。この初めてにドキドキだったり、ワクワクだったりの1年生、こうやって学校に慣れ親しんでいきます。

小中高合同遠足 4月14日(金)

まずは、小中高合同遠足です。小学校1年生から高校3年生までがいっしょに遠足に行くなんて他では考えられないこと。県内でもこの小中高一貫教育を実践している五島市奈留地区、お隣の宇久地区、そして小値賀の3地区だけではないでしょうか。



当日は、小中高それぞれで新入生の歓迎行事が開催されます。小学校では、花のアーチで1年生を迎えます。その後は、各学年の歓迎の出し物。自分たちでコント風にアレンジした出し物や替え歌、寸劇を交えた小学校の1年間の紹介など、僅かな時間ですがそれぞれの学年が歓迎の気持ちと趣向を凝らした出し物です。

6年生は「アンパンマン」をパロディーにした寸劇を披露しました。1年生がお絵かきをして遊んでいるとバイキンマンとカビルンルンがじゃまをしにきます。お約束通り、泣いている1年生を助けに参上するのはアンパンマンなのですが、これがバイキンマンとカビルンルンにかなわない。そこで登場するのは6年生です。6年生の力で悪者をやっつけちゃうという筋書き。最後はアンパンマンと6年生が力を合わせて勝利。「こんな6年生を頼ってください。」と締めくくります。



この集会が終わって、いよいよ遠足に出発。小学校(5→4→3→2)、中学校(2→3)、高校(2→3)に続き、小学校の1年生と6年生が手をつなぎ、その後に中1、高1という順序で出かけます。現地(前浜公園)では、前に着いた他の学年が、小中高それぞれの1年生の到着を、花道をつくって迎えてくれます。

その後はそれぞれの1年生と転入の先生方の紹介とちょっとした出し物。小学校1年生は「大きくなったら〇〇になりたい△△です。よろしくお願いします。」と自己紹介。中・高の1年生は友だちを紹介する「他己紹介」と出し物。(どちらもお笑いをパロディーにしたもの。今年はブルゾンちえみが大人気でした。)

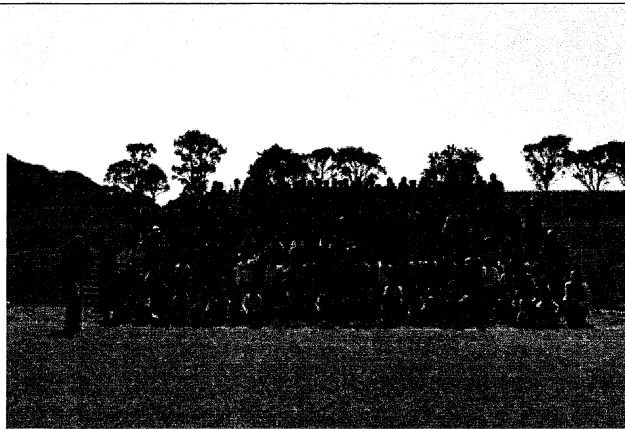
そして、集団ゲームです。内容は「じゃんけん列車」と「鬼ごっこ」。「じゃんけん列車」は、音楽に合わせてじゃんけんをし、負けた子は勝った子の後ろにつながって列車をつくっていくというものです。中には高校生のお兄ちゃんに肩車をしてもらう1年生もいました。(2年生もいたような…)

列車の列も長くなって、中・高生と小学生がじゃんけんの勝負をするという場面もあったのですが、後ろの方から先頭の中・高生に向かって「勝つなよ！勝つなよ！」と声をかける中・高生。小学生といっしょに遊んでくれる、真剣にバカになってくれる、この日の青空のようにすがすがしい小値賀のお兄ちゃんお姉ちゃんたちの姿です。こんなちょっとしたことが「あこがれ」につながり、子どもたちの自己肯定感を高めます。



小値賀っ子

全員集合！



初めての給食

4月17日(月)

小学校に入学して初めての給食。メニューは、ポークカレー、コールスローサラダ、ムース、牛乳です。全国的な統計は調べることができませんでしたが、私がこれまでお世話になった学校では、給食のカレーはダントツの人気No.1メニューです。他の市町では、パン給食もあり、曜日によって米飯とパンが主食になります。1年生初日の給食でも、パンの日であればカレーとはいかないので、後日に回ることが多いのですが、小値賀は米飯給食が基本。ですから、毎年1年生の給食始めはカレーです。こども園の時よりちょっと多めのカレーもべろりと食べてしまう子、ちょっと時間をかけて食べる子、でも全員完食でした。



もちろん、給食は栄養の摂取ということを目的としていますが、それだけではありません。その他に、

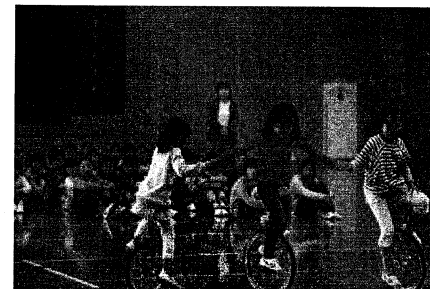
- ・食についての正しい理解を深め、望ましい食習慣を養うこと
- ・明るい社交性や共同の精神を養うこと(食事のマナーを身につけること)
- ・食に感謝し、自然の恩恵を感じる
- ・食が様々な人の活動に支えられていることを理解し、勤労を重んじる態度を養うこと
- ・日本の伝統的な食文化について理解を深めること
- ・食料の生産・流通・消費について正しく理解すること

などを目的としています。ただ食べるだけではなく、協力して準備することやおかわりの際に他人を思いやってみようなど学級づくりや集団づくりにつながります。

私は、配膳をするときに担任の先生から配膳するというのも大切なことだと思っています。それは、目上の人を大切にすることを経験させ、身につけさせたいからです。ややもすると、自分たちの食べることを一番に考え、担任には最後に持ってくるなんていう学級も見たことがあります。間違っていると思います。担任の先生が偉そうにするのではなく、目上の人を尊重する、そのことを教える場でもあります。

今年も始めます。とうとうリクエスト選手権!

昨年度から、子どもたちが人前で堂々と自分を表現できること、他人に認められること、他人を認める経験を積み重ね自分に自信を持つことをねらって始めた「とうとうリクエスト選手権」を今年も始めます。昨年度は9月に始めたのですが、今年度は早速1学期から始め、9月末までの前期と10月から2月までの後期に分け、リクエスト数で表彰をしたいと思います。方法は昨年度とほぼいっしょ。



- 1 それぞれの子どもたちの得意なこと(歌、コント、小話、暗唱等)を、希望者から担任に申し出る。
- 2 出し物は担任→校長(あるいは教頭)の流れでエントリーできるかどうか、さらに練習や工夫が必要かを判断する。
- 3 OKを受けた子はエントリーカードに氏名と出し物のアピールを記入し、児童玄関前のボードに掲示する。
- 4 保護者のみなさんや地域のみなさんが来校されたときにエントリーカードから、実際に見てみたい出し物をリクエストする。
- 5 リクエスト回数に応じて、1~3位を表彰し、金・銀・銅のメダルを授与する。

変更点は、昨年度は保護者や地域のみなさんにリクエストをしてもらうときは、職員室にシールをとりに来てもらっていたのですが、これには若干の抵抗があったようでちょっと遠慮されているのを感じました。今年はその場でサインをいただくことでリクエストをお願いしたいと思います。

このことを知らない1年生もいるので、今日の朝会では2年生にお手本を見せてもらって説明しました。「さあ、自分の得意なことを見つけ、輝け小値賀っ子！」

どうでもいいことですが、私の小学校1年生の時の歓迎遠足の思い出。

校長先生と2人でお弁当を食べ、当時学校から一律に渡されていたおやつを校長先生の分まで(全部じゃありません)いただいたような記憶があります。恐れを知らなかったのか、人なつっこかったのか、あるいは友だちの輪にうまく入っていけなかったのか…。そんな初めての遠足でした。